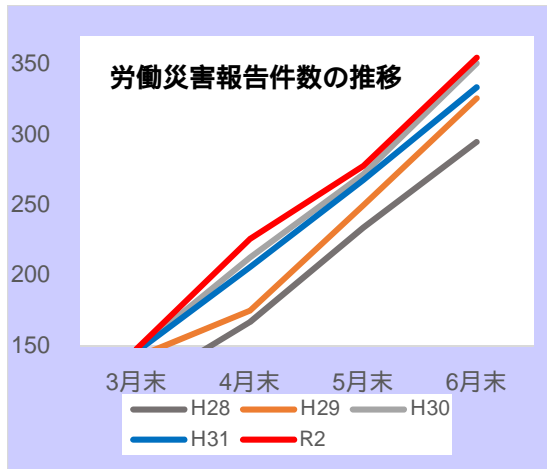
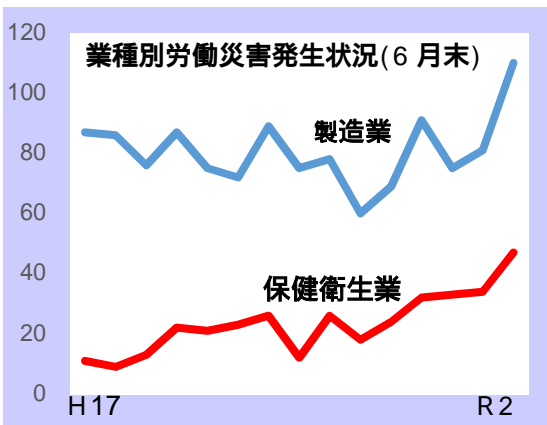


岡山労働基準監督署管内（岡山市 玉野市 瀬戸内市 旧加茂川町） 労働災害増加注意報発令

岡山労働基準監督署管内における労働災害は、6月末現在速報値で355件（昨年比21件増）発生し、玉野市が岡山署に統合された平成17年以降で平成26年同期の361件に次ぐ件数となっています。



今年発生した労働災害の特徴

大幅に増加している業種

- 製造業 110件(昨年比25件増)
- 保健衛生業 47件(同12件増)

通路、階段等の建築物で発生した災害101件(同31件増)

- 建築物などから墜落23件(同9件増)
- 建築物などに激突10件(同7件増)
- 建築物などで転倒52件(同5件増)

60歳以上の労働者の労働災害は73件に減小

65歳以上については53件(同55件)と同水準

4月発生した労働災害(速報値)は67件(同15件増)

労働災害増加の要因・危険因子等

人手不足による熟練労働者の減少等(3月以前)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響(4月以降)

- 休業に伴う一部労働者への過大な業務の集中
- 新規採用者等への安全衛生教育実施の延期・省略
- 安全委員会の延期等による安全衛生管理活動の停滞
- 安全意識の低下(全国安全週間(準備期間)の行事縮小)
- マスク着用による熱中症リスク要因の増加

岡山労働基準監督署からのお願い～労働災害の増加に歯止めをかけるために～

安全装置の設置、正しい作業動作など、基本的な事項が遵守されているか、確認しましょう。

教育は、しっかり理解でき、その実践につながるものとなるよう工夫しましょう。

不用意な行動による災害をなくすよう、次の行動に移るときには一呼吸置いて、確認した上で行動しましょう。

「エイジフレンドリーガイドライン」を踏まえ、高年齢労働者などが安心して安全に働ける職場環境の実現に努めましょう。

「3密」などコロナ対策を取りつつ、熱中症対策には例年以上に留意しましょう。



岡山労働基準監督署

〒700-0913 岡山市北区大供2-11-20

電話(086)225-0592 FAX(086)225-0598

チェックポイント

全業種共通事項

建物などで発生する労働災害の防止対策

- 転倒** 通路、作業場の整理整頓
段差、水、油などはないか
作業に適した靴を使用しているか
- 墜落** 階段に手すり・滑り止めがあるか
駆け降りていないか
高所には手すり、中さんはあるか
椅子などの代用品を使用していないか
- 激突** 飛び降りる行為をしていないか
あわてて行動していないか



安全衛生教育が実施され、正しい方法で作業を行っているか 機械及び安全装置、取扱う物質の危険性・有害性 作業方法、手順

エイジフレンドリーガイドライン（重複内容等を除く抜粋）

注...エイジフレンドリーとは「高齢者の特性を考慮した」を意味する言葉

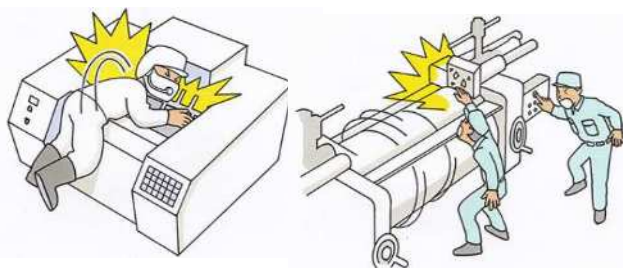
- 設備、機械、作業方法は視、聴覚、
体力を考えたものか
- ゆとりのある作業スピード、
無理のない作業姿勢か



製造業

定常作業

- 機械設備は正しく動作するか
- 機械設備に覆い、安全装置が設けられているか



非定常作業

- 電源を遮断して機械の点検修理を行っているか、電源を勝手に入れない措置をしているか
- 点検修理後は、覆い、安全装置を元に戻しているか

社会福祉施設

腰痛予防

- 体力が必要な介助作業は、複数人又は福祉機器を活用しているか
- より負担の少ない介助姿勢を意識し、実践しているか

不意の動作が原因の労働災害も多数発生しています。危険を予測した行動が出来るよう、KY活動を導入しましょう。



腰痛予防対策講習会 **参加費無料**

が岡山市内で開催されます。

保健衛生業 10/6(火)

運送業 10/8(木)

詳細はこちら

